

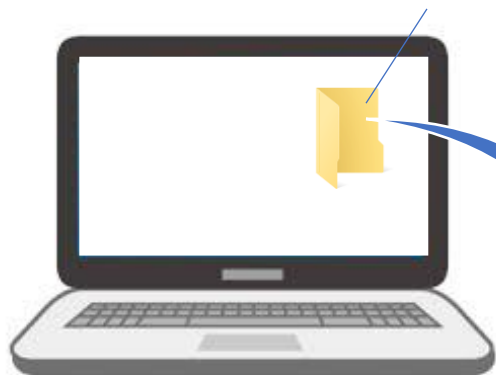
標準的なフェリー・旅客船航路情報 フォーマット簡易作成ツール_Ver.5

使い方マニュアル簡易版

2025年3月14日

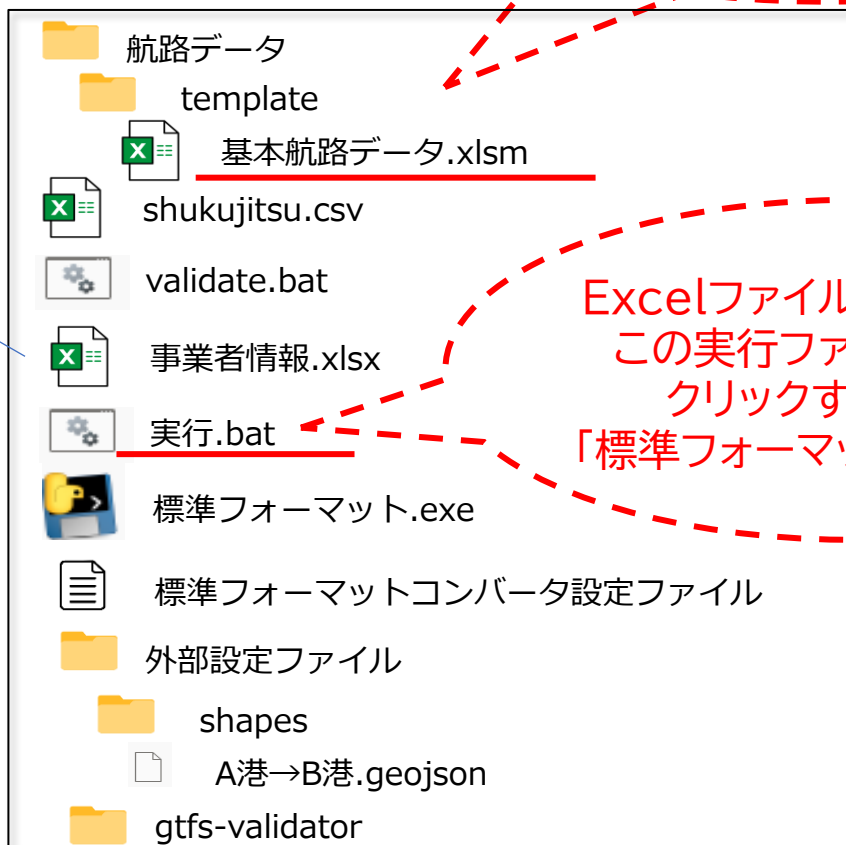
1. はじめに

『標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット簡易作成ツール』のフォルダー



開くと…

このExcelファイルにも
入力しますが、入力項目
は少ないです



入力や編集の操作を行うのは、
主にこのExcelファイルです
航路データフォルダ内のtemplateフォルダがあ
り、そこにオリジナルが保存されています。オリ
ジナルをコピーして使用します。

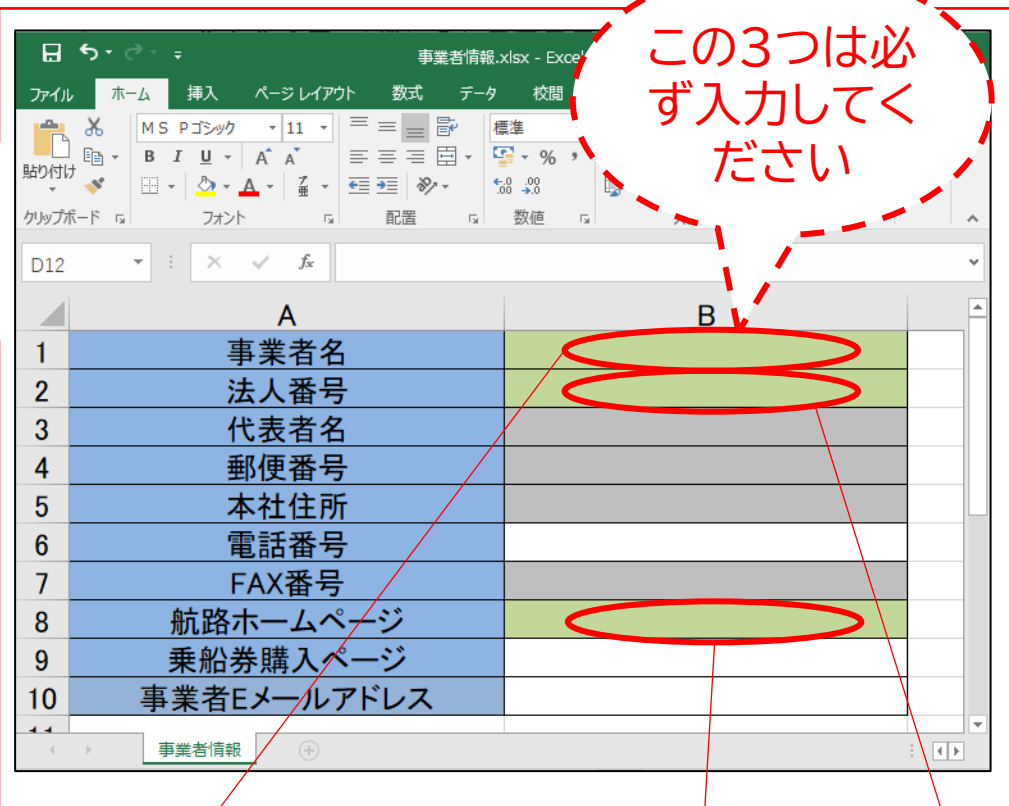
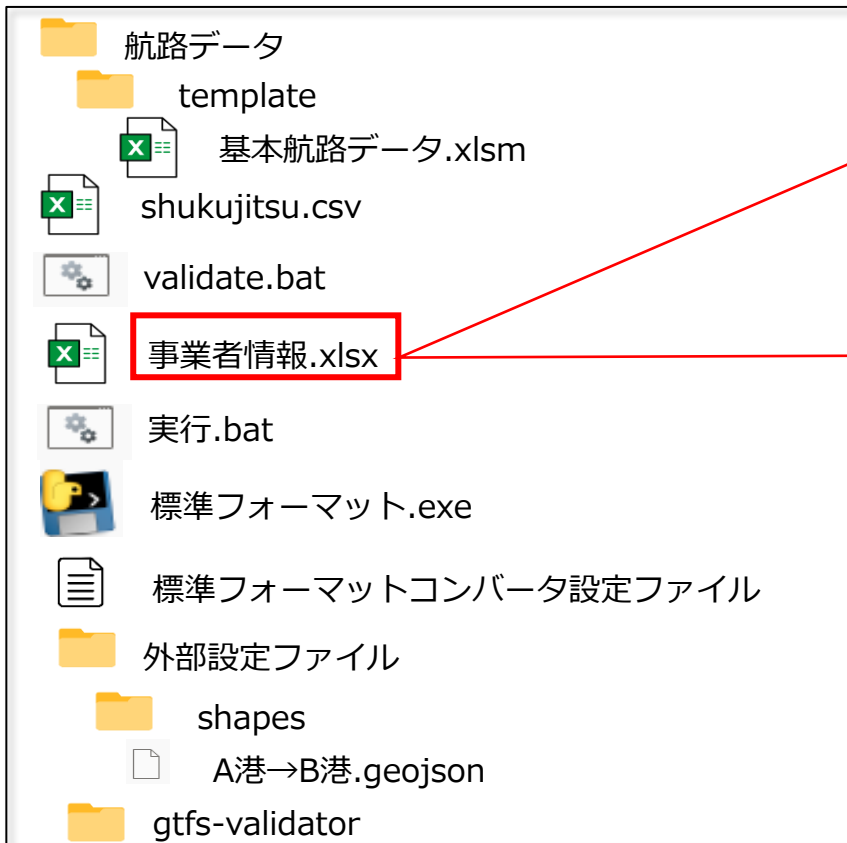
Excelファイルに入力したら、
この実行ファイルをダブル
クリックするだけで、
「標準フォーマット」の完成です

2. 事業者様の基本情報の入力

※これはおそらく最初だけ

事業者情報.xlsx

開くと…



例えば

株式会社〇〇

(株)〇〇

〇〇汽船

〇〇汽船株式会社

等々

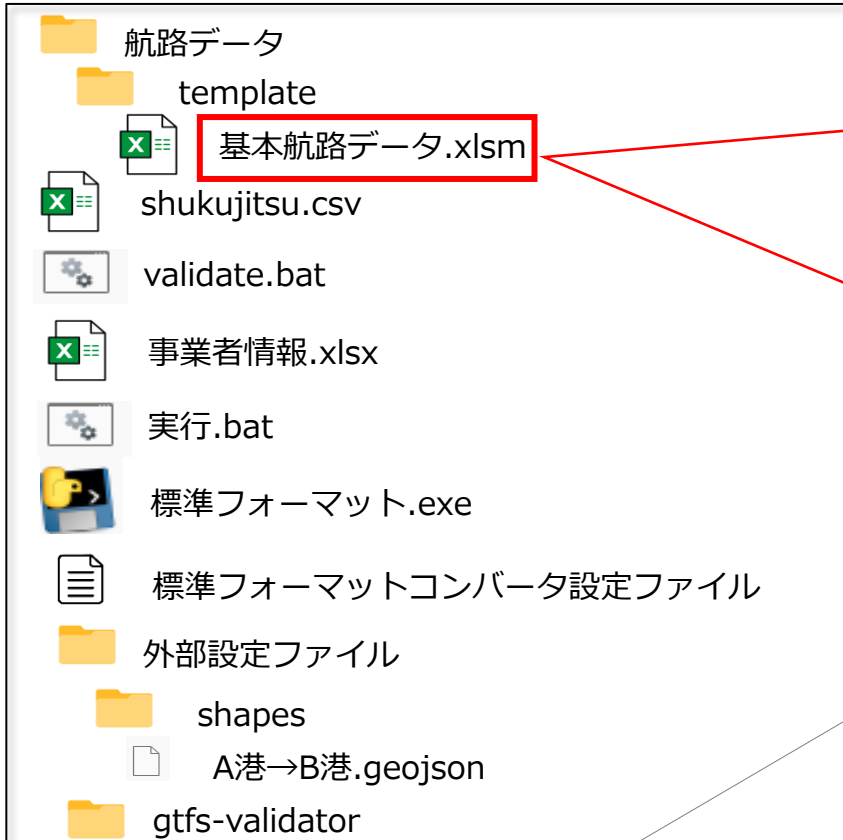
13桁

<https://www.>

3. 航路情報の入力

基本航路データ.xlsm

開くと...



	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	種別	航路01	航路URL					
3								
4	航路名	所要時間	航路色					
5								
6								
7		航路02						
8	種別	距離	航路URL					
9								
10	航路名	所要時間	航路色					
11								
12								
13		航路03						
14	種別	距離	航路URL					
15								
16	航路名	所要時間	航路色					
17								
18								
19		航路04						
20	種別	距離	航路URL					
21								
22	航路名	所要時間	航路色					
23								
24								
25		航路05						
26	種別	距離	航路URL					
27								
28	航路名	所要時間	航路色					
29								
30								
31								

9つのシートに分かれています。
それぞれの入力の仕方は、次のページ
以降で説明します。

基本航路データ.xlsm

①航路

必須

この航路に関する情報が掲載されたホームページのURLを入力します

種別はプルダウンで選べます(任意)

種別
フェリー
フェリー
旅客船
高速船
遊覧船
貨物船

必須

分かりやすい
航路名を入
れます

航路色はプルダウンで選べます(任意)

青	航路色
赤	
青	
黄	
绿	
灰	
黑	
橙	

距離は35.8km等小数点1桁、所要時間は分単位または時間-分単位ですが、必ずしも入力が必要なわけではありません。

3. 航路情報の入力

基本航路データ.xlsm

3-2.「②のりば」

①航路	②のりば	③船の紹介	④運航日	⑤ダイヤ	⑥旅客運賃	⑦車両・特殊手荷物	⑧アラート	⑨運航日_特定日
-----	------	-------	------	------	-------	-----------	-------	----------

この1ページに、のりば(港)を全て入れます。

	A	B	C	D	E	F
1	のりば					
2	港名	港よみ	乗り場	港緯度	港経度	港URL
3	A港	えいこう		34.35867	132.4174	
4	B港	びいこう		34.30286	132.3227	

この4つは
必ず入力しま
す

港緯度、港経度
には、座標値を
入れます

港名を入れます。
ここで、停泊順
を気にする必要
はありません。
また、入力でき
る港の数も制限
してません。

※緯度経度の座標がわからない場合、本
マニュアル後段で案内する「座標の取得
方法」を参考に確認してください

(任意)

同じ港でも、「のりば」が異なる場合には、ここに乗り場名を入れます。
同じ港名でも、乗り場の数だけ「行」をつくることになります。

3. 航路情報の入力

基本航路データ.xlsm

3-3.「③船の紹介」

①航路	②のりば	③船の紹介	④運航日	⑤ダイヤ	⑥旅客運賃	⑦車両・特殊手荷物	⑧アラート	⑨運航日_特定日
-----	------	-------	------	------	-------	-----------	-------	----------

この1ページに、船舶の情報を入れます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	船の紹介									
2	船体名	総トン数	主機関馬力	機関数	航海速力	旅客定員	トラック搭載可能 車両数	乗用車搭載可能 車両数	就航年月	設備
3	かいじ									
4	やまと									

使用している
船舶の名称を
入れます。

必須

(任意)

総トン数 : 船舶の重量をトン単位で入力します。

主機関馬力: 馬力を入力します。

機関数 : 主機関の数を入力します。

航海速力 : 航海速力の平均値をノット単位で入力します。

旅客定員数: 最大旅客定員数を入力します。

トラック搭載可能車両数

: トラックの最大積載可能数を入力します。

乗用車搭載可能車両数

: 普通乗用車の最大積載可能数を入力します。

就航年月日船舶の就航

: 船舶の就航年月日を「年号のローマ字」+「元号年(2桁)」、「月(2桁)」で入力します。 例)R0106 ※令和元年6月

設備

: 船舶の設備を入力します。 例)バリアフリー、Wifi

3. 航路情報の入力

基本航路データ.xlsm

3-4. 「④運航日」

①航路	②のりば	③船の紹介	④運航日	⑤ダイヤ	⑥旅客運賃	⑦車両・特殊手荷物	⑧アラート	⑨運航日_特定日
-----	------	-------	------	------	-------	-----------	-------	----------

必須

運行日パターンを入れます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	運航日															
2	定義	曜日								期間		運休日				
3		月	火	水	木	金	土	日	祝	開始	終了					
4	全日	○	○	○	○	○	○	○	○	20200401	20200731	20200405	20200506	年4桁、 月日4桁 の8桁です		
5	平日	○	○	○	○	○	×	×	×	20200401	20200731					
6	土休	×	×	×	×	×	○	○	○	20200401	20200731					

年4桁、
月日4桁
の8桁です

※この例では

「全日」パターンは、4月1日～7月31日まで、全曜日運行。ただし、4月5日、5月6日は運休。

「平日」パターンは、4月1日～7月31日まで、平日運行。

「休日」パターンは、4月1日～7月31日まで、土日祝運行。

この他にも、例えば「月水金」パターン、「火木土」パターン、「月のみ」パターン等、色々登録できます。

また、一定のパターンではなく、個別特定の日だけの運行日を登録したい場合には、このシートで「パターン名(定義)」だけ入力し、他は「空欄」のまま、別のシートで個別特定の日を指定します。

※詳細は、別シートで説明します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	運航日															
2	定義	曜日								期間		運休日				
3		月	火	水	木	金	土	日	祝	開始	終了					
4	1月6日～1月29日運航 (水曜日定期定休)															
5	平日運航															
6	土曜・日曜運航															
7	2月～3月標準ダイヤ															
8	4月ドッグダイヤ															

空白

3. 航路情報の入力

基本航路データ.xlsm

3-5. 「⑨運航日_特定日」

①航路	②のりば	③船の紹介	④運航日	⑤ダイヤ	⑥旅客運賃	⑦車両・特殊手荷物	⑧アラート	⑨運航日_特定日
-----	------	-------	------	------	-------	-----------	-------	----------

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	運航日													
2	定義	曜日							期間		運休日			
3		月	火	水	木	金	土	日	祝	開始	終了			
4	第2第4土日運行									20220401	20220630			
5	隔週日曜日運行									20220401	20220630			
6	基本土日祝+5/2,5/6運行						○	○	○	20220401	20230331			

※この例では
4月1日～6月30日まで隔週で土日運行とするケースです。
この場合、「④運航日」シートでは運行曜日を空欄にして、
「⑨運航日_特定日」シートで隔週の土日を入れます。

	A	B
1	運航日(特定日)	
2	定義	日付
3	第2第4土日運行	20220402
4	第2第5土日運行	20220403
5	第2第6土日運行	20220416
6	第2第7土日運行	20220417
7	第2第8土日運行	20220430
8	第2第9土日運行	20220501
9	第2第10土日運行	20220514
10	第2第11土日運行	20220515
11	第2第12土日運行	20220528
12	第2第13土日運行	20220529
13	第2第14土日運行	20220611
14	第2第15土日運行	20220612
15	第2第16土日運行	20220625
16	第2第17土日運行	20220626
17	隔週日曜日運行	20220403
18	隔週日曜日運行	20220417
19	隔週日曜日運行	20220501
20	隔週日曜日運行	20220515
21	隔週日曜日運行	20220529
22	隔週日曜日運行	20220612
23	隔週日曜日運行	20220626
24	基本土日祝+5/2,5/6運	20220502
25	基本土日祝+5/2,5/6運	20220506

※この例では
2022年4月1日～2023年3月31日まで土日祝運行ですが、
GWの連休に挟まれた5月2日、5月6日も運行するケースです。
この場合「④運航日」シートで土日祝に「○」を入れ、「⑨運航日_特定日」シートで5月2日、5月6日を入れます。

3-6.「⑤ダイヤ」

基本航路データ.xlsm



この1ページに、複数の航路のダイヤを入れます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	V	W	X	Y
1	航路01のダイヤ												
2	A港		B港		C港		A港		使用船体	運航日	航海ルート	注記	
3	便名	着	発	着	発	着	発	着	発				
4	1便		9:00	11:00	11:30	13:00	13:30	14:00		かいじ	全日	A港→B・C港→A港	
5	2便		15:00	16:30	17:00	18:30	19:00	20:00		やまと	土休	A港→B・C港→A港	
6	3便	19:00				17:00	17:30		15:30	かいじ	全日	A港→C港→A港	
7	4便	24:30				22:30	23:00		21:00	やまと	土休	A港→C港→A港	

航路毎に、早い時間の便から順に、
経路港の発着時刻を入れます。

必須

港名は、プルダウン
で選べます。

(任意)

管理をわかりやすくするために、
航路のルートを分かりやすく入れ
ておきます。

なお、ここに記載した名称を航路の軌跡データ(別途作成)のファイル名にしておく、と、より管理がわかりやすくなります。

航路が複数ある場合には、同じシート内に、上記と同様に追加します。

航路03のダイヤ																						
航路02のダイヤ																						
便名																			使用船体	運航日	航海ルート	注記
	着	発	着	発	着	発	着	発	着	発	着	発	着	発	着	発	着	発				
																			やまと	平日	ルート3	注記3
																			かいじ	休日	ルート4	注記4
																			やまと	平日	ルート5	
																			かいじ	休日	ルート6	

3. 航路情報の入力

基本航路データ.xlsm

3-7.「⑥旅客運賃」



この1ページに、複数の航路の運賃を入れます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	【必須】旅客運賃(大人:基本料金)									
2	A港									
3		3500 B港	-	-	-	-	-	-	-	-
4		5500	2500 C港	-	-	-	-	-	-	-
5			3500	5500 A港	-	-	-	-	-	-
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12	旅客運賃名 大人片道料金									
13	【任意】旅客運賃									
14	A港									
15		1750 B港	-	-	-	-	-	-	-	-
16		2750	1250 C港	-	-	-	-	-	-	-
17			1750	2750 A港	-	-	-	-	-	-
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25	旅客運賃名 小人片道料金									

基本料金を入れます。
運賃設定が無い場合
には空欄です

必須

旅客運賃名
を入れます

(任意)
基本料金以外の
運賃、その旅客運
賃名も入れること
ができます。

航路が複数ある場合には、同じシート内に、上記と同様に追加します。

3. 航路情報の入力

基本航路データ.xlsm

3-8.「⑦車両・特殊手荷物」

①航路	②のりば	③船の紹介	④運航日	⑤ダイヤ	⑥旅客運賃	⑦車両・特殊手荷物	⑧アラート	⑨運航日_特定日
-----	------	-------	------	------	-------	-----------	-------	----------

この1ページに、複数の航路の情報を入れます。

任意

航路01の車両・特殊手荷物				
	区分	片道運賃	注記	ドライバー船賃
3	～3m未満	13340		含まない
4	3m～4m未満	16700		含む
5	4m～5m未満	20060		含む
6	5m～6m未満	27470		含む
7	6m～7m未満	30240		含む
8	7m～8m未満	不可		
9	8m～9m未満	不可		
10	9m～10m未満	不可		
11	10m～11m未満	不可		
12	11m～12m未満	不可		
13	12m～13m未満	不可		
14	1mごと割増し	不可		
15	自転車	500		含まない
16	原動機付自転車	500		含まない
17	自動二輪車	1000		含まない
18	大型自動二輪車	2000		含まない

運賃は、最も高い港間の金額を入れます。船舶に載せられないものは「不可」と記載します。

片道運賃にドライバー運賃が含まれるか、含まれないか、選択します。

航路が複数ある場合には、同じシート内に、上記と同様に追加します。

航路02の車両・特殊手荷物				
	区分	片道運賃	注記	ドライバー船賃
	～3m未満			
	3m～4m未満			
	4m～5m未満			
	5m～6m未満			
	6m～7m未満			
	7m～8m未満			
	8m～9m未満			
	9m～10m未満			
	10m～11m未満			
	11m～12m未満			
	12m～13m未満			
	1mごと割増し			
	自転車			
	原動機付自転車			
	自動二輪車			
	大型自動二輪車			

3. 航路情報の入力

基本航路データ.xlsm

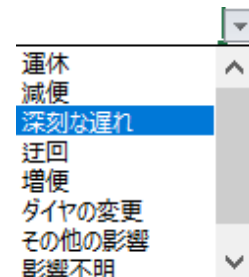
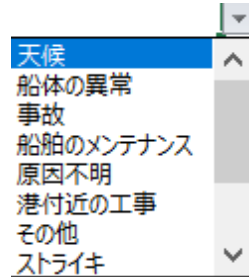
3-9.「⑧アラート」



当該航路で発生している運休情報等の現在の運航に関する事象について入力します。
該当する情報がない場合は、記入する必要はありません。

航路名	見出し	内容	原因	影響	開始日	終了日
A航路	天候不良による 運行情報	天候不良の影響で波が荒れており、3月1日現在、すべての便の運航を中止しております。3月2日の運航にも影響が出る可能性がありますのでご注意ください。	天候	運休	20220301	20220302

「①航路」で
設定した航
路名をプル
ダウンから
選べます



ご注意

*アラートデータは航路毎に入れます。

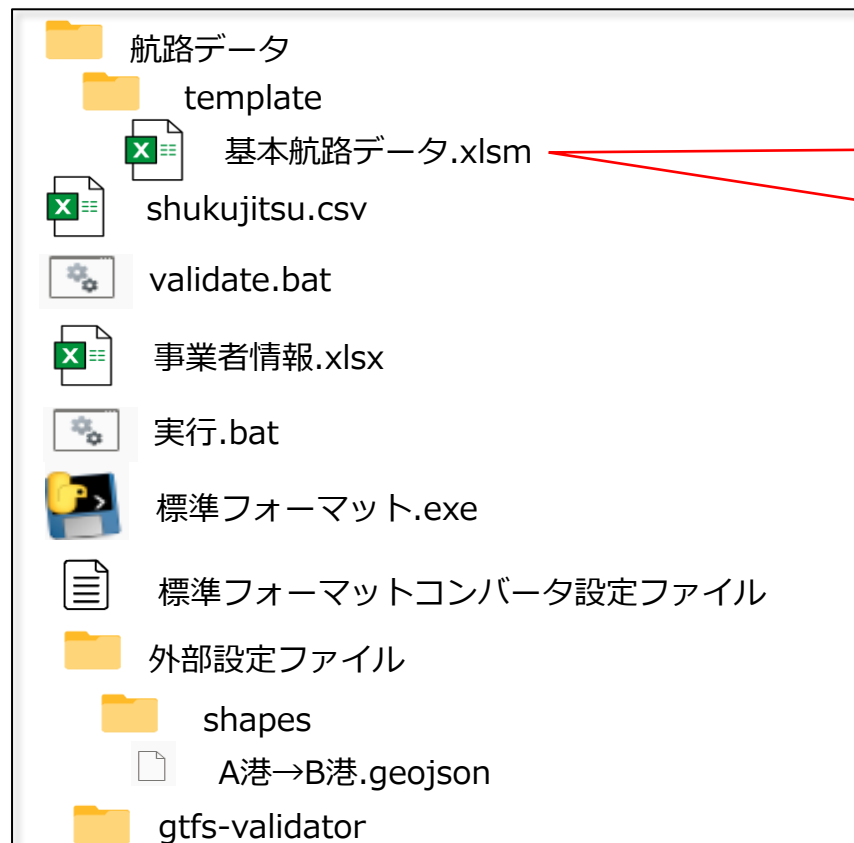
*複数航路に同じアラートがある場合も全航路について入力が必要です。

*上の例は、直近の時限的な内容ではありますが、GTFSデータを活用する事業者等は(直接的契約が無い場合は)日々のデータを入手しての情報展開まではしていないのが現状です。

実務的には中長期的な情報掲載が適切であります

4.『実行.bat』クリックでプログラム実行

前ページまでの入力が終わりましたら、『事業者情報.xlsx』と、『基本航路データ.xlsxm』を上書き保存して完了です。



入力した『基本航路データ.xlsxm』は、以下のように名前を付けて保存することをお勧めします。

例:ABCフェリー2025年3月改正. xlsx

上書き(名前を付けて)保存後、
『実行.bat』をクリックすると、
標準フォーマットが完成します。

もう一步進んだ『軌跡ファイル』も含む標準フォーマット作成もお奨めします。
その場合、上記段階では未だ『実行.bat』クリックしません。
次ページから説明する軌跡ファイル作成と基本航路データ.xlsxmに追加入力、
そして『実行.bat』クリックにより、一步進んだ標準フォーマット完成です。

5. 軌跡ファイルの作成 … GTFSに航路軌跡を提供できます

シート「⑤ダイヤ」の「航海ルート」に定義する軌跡のファイルは国土地理院の地図サイトで作成します

1. 国土地理院の地図サイトを開きます。(<https://maps.gsi.go.jp/>)

2. 軌跡を取りたい場所周辺に移動します。

【赤枠①】に住所入力、又は地図上で目的の場所にドラッグで移動、地図左下の＋で拡大縮小してのりば位置を設定します。

3. 下図【赤枠②】「ツール」> 下図【赤枠③】「作図・ファイル」を選択すると【赤枠④メニュー】が表示されます。

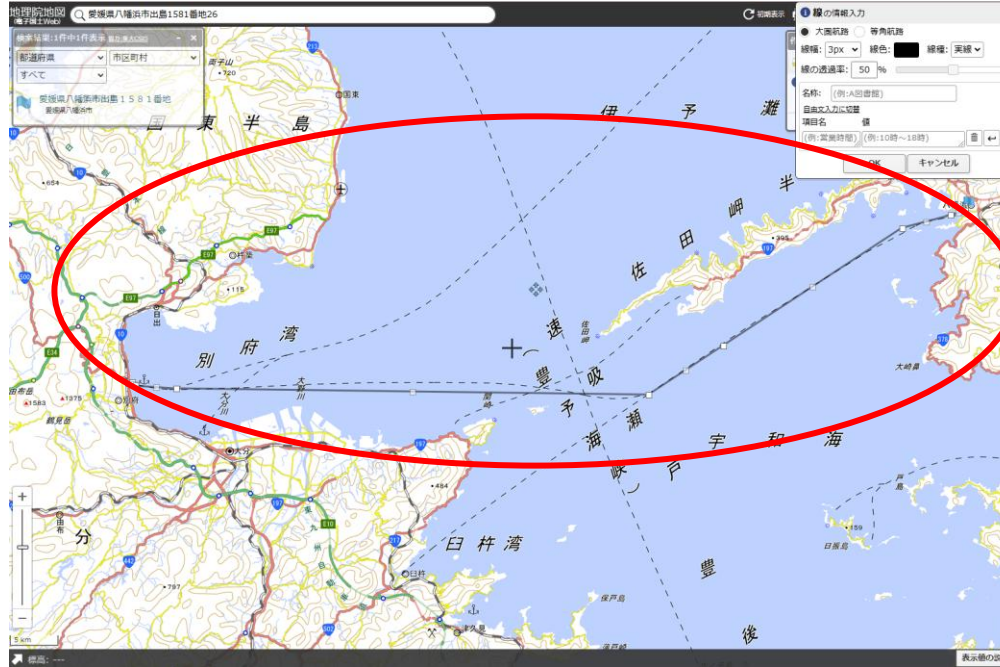


5. 軌跡ファイルの作成



4. 左図【赤枠⑤】の「／」マークを選択します。
 - a. 左図【赤枠⑥】が地図上に表示されます。
 - b. この状態で軌跡データを作る準備が整います。

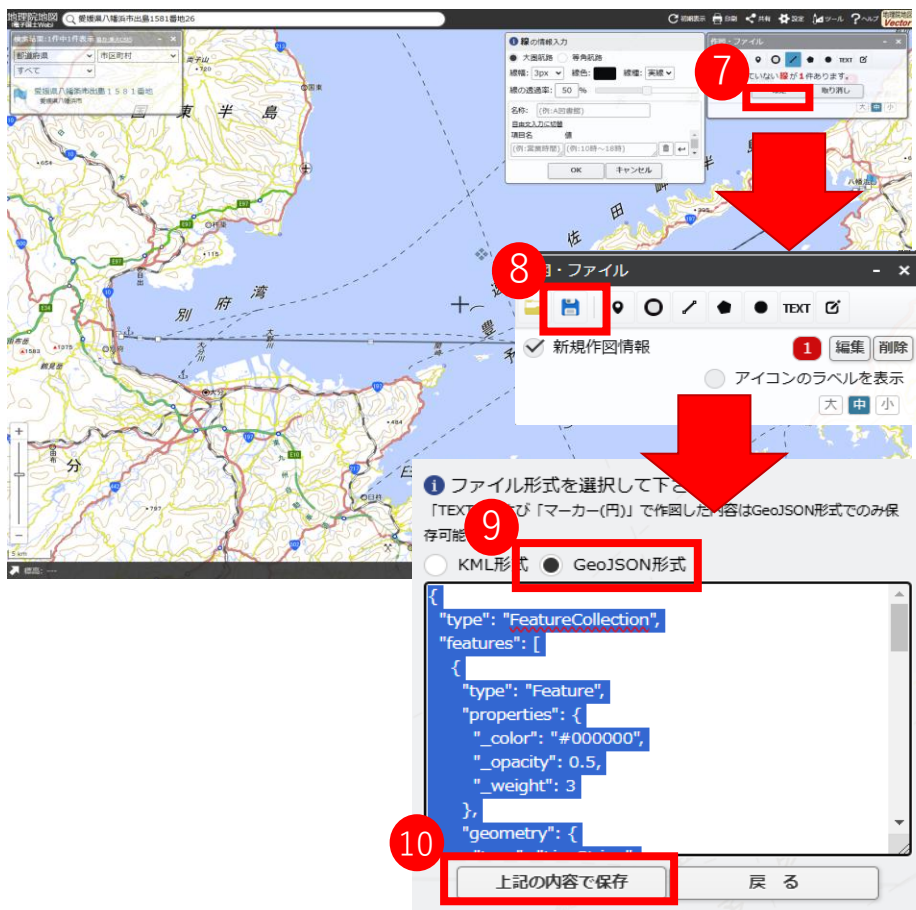
5. 軌跡ファイルの作成



5. 地上に線を引いていきます。

- 地図上で最初の港の位置を左クリックし、目的の港までのルートを一筆書きで描いていきます。
- 左クリックを再度押すと線の節目を作ることができ、直線を折り曲げることができます。
- 曲線を描きたい場合は細かく左クリックを押して節目を作り区切ってください。
- 誤って節目を作ってしまった場合は、右クリックを押すことで節目を一つずつ削除することができます。
- ダブルクリックで線を確定させます。

5. 軌跡ファイルの作成

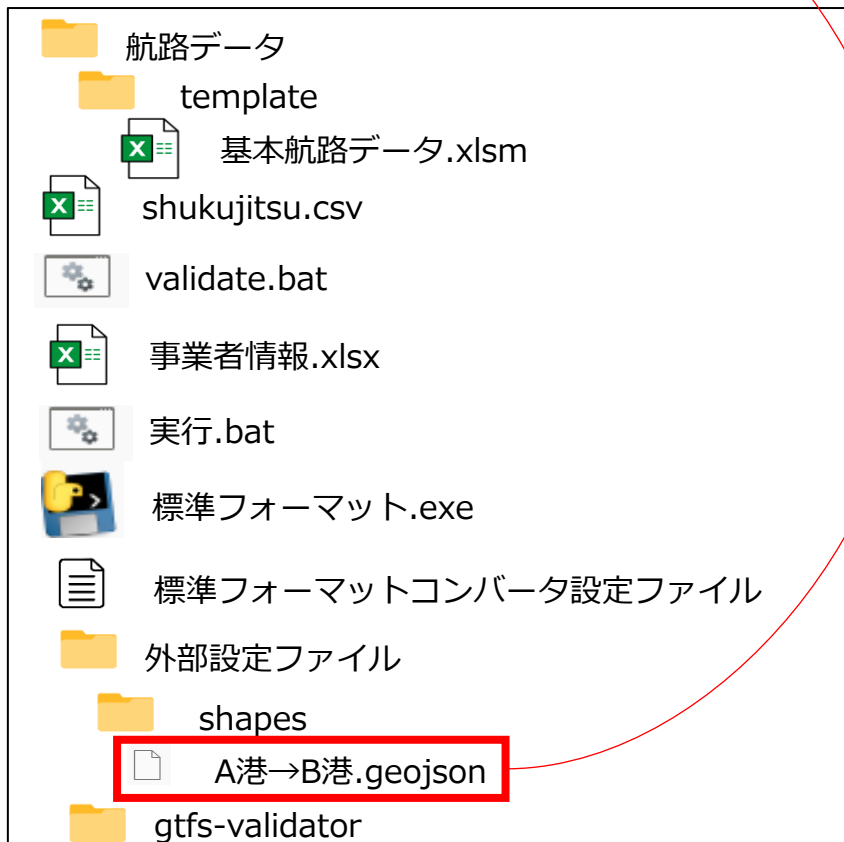


6. 航海ルート情報の保存

- ルートの描画が完了したら「作図・ファイル」メニューの「確定」(左図【赤枠⑦】)をクリックします。
- 名称や線の色といった他の情報の指定は不要です。
- 左図【赤枠⑧】の保存ボタンをクリックします。
- 保存する形式は「GeoJSON形式(左図【赤枠⑨】)」を選択してください。
- 「上記の情報を保存」(左図【赤枠⑩】)ボタンを押し、ファイルの保存を行います。
- 作成されたファイル名称は「gis+」現在時刻「.geojson」となっていますので、描画した航海ルート名に変更します。
- (例)「A港→B港」など
- データは「外部設定ファイル」フォルダの「shapes」フォルダに移動させてください。

5. 軌跡ファイルの作成

運航日	航海ルート
全日	A港→B港
土休	A港→B港
全日	
土休	



8. シート「⑤ダイヤ」での設定

- 標準フォーマットのシート「⑤ダイヤ」の各便の「航海ルート」に作成したgeojsonファイルを割り当てます。
- ファイル名のみで拡張子(.geojson)は不要です。

9. 軌跡データの座標について

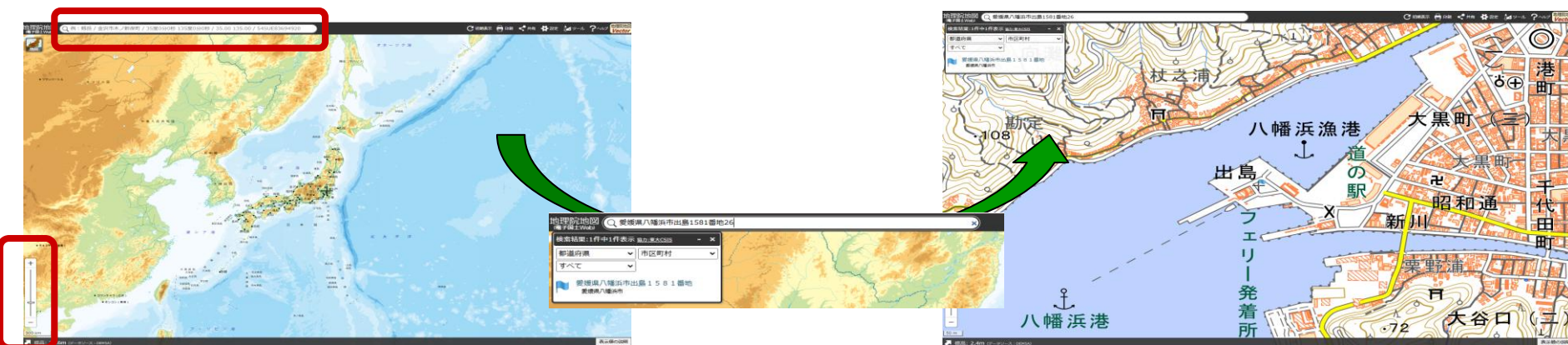
- 軌跡データ内緯度経度は地図上に航海ルートを描画するために用いられます。
- 港の座標については「②のりば」で定義したものが案内されます。「②のりば」で定義した座標が軌跡上に含まれている必要はありませんが、あまりに離れている場合は警告となります。

そして『実行.bat』クリックにより、一歩進んだ(航路軌跡を取り込んだ)標準フォーマット完成です。

【参考】緯度経度取得方法 …のりば(港)座標の取得方法

港や旅客ターミナルの座標情報(緯度・経度)は、国土地理院の電子国土webで確認することができます。

- ① 国土地理院の電子国土webを開きます。【 <https://maps.gsi.go.jp/> 】

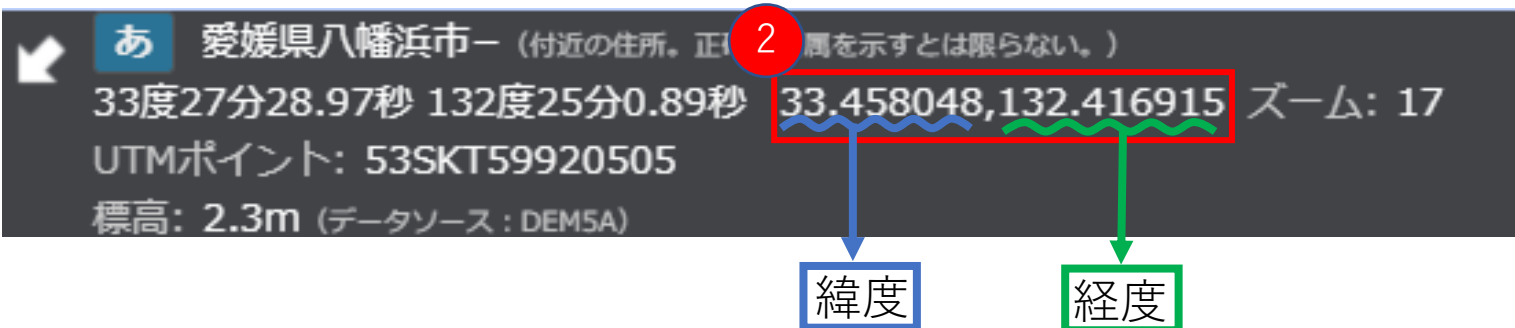


- ② 地図を拡大して、目的の場所へ移動、赤丸内の「+」「-」で拡大縮小、ドラッグで移動できます。又は、地図上の赤囲み欄に住所入力してEnter押下、すぐ下に表示される検索結果の住所にカーソルを合わせてクリックします。

【参考】緯度経度取得方法 …のりば(港)座標の取得方法



- ③ 座標を取りたい場所(港や乗り場)に画面中央の【+マーク】を合わせます。
そして、左図【赤枠①】の位置にある矢印にカーソルを合わせてクリックします。
- ④ 「+マーク」の住所や座標などの情報が記載されたものが表示されます。
- ⑤ 左図【赤枠②】の数値が「緯度(33.458048)」、「経度(132.416915)」となりますので、その数値をお使いください。



より詳しい内容は、別冊の以下マニュアルをご覧ください。

『標準的なフェリー・旅客船
航路情報フォーマット簡易作成ツール』
入力・作成マニュアル

Ver5
20250314